

NY マーケットレポート (2014年8月13日)

NY 市場では、序盤に発表された7月の米小売売上高が市場予想を下回り、4ヵ月連続で伸び幅が縮小となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ユーロは対ドルで大きく上昇したことを受けて、対円でも上昇となった。また、欧米の堅調な株価動向も影響して、クロス円も堅調な動きとなった。しかし、英ポンドは、英中銀総裁が賃金の伸び悩みを指摘し、利上げを急がない方針を示したことを嫌気して、主要16通貨すべてに対して下落する動きとなった。また、ブラジル大統領選に出馬する候補者が飛行機事故で死亡したことを受けて、大統領選に絡む思惑から、ブラジル・リアルは不安定な動きとなり、主要株価も大きく下落する動きとなった。

2014/8/13 (水)

| TOKYO | 東京終値 | 東京高値 | 東京安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 102.47 | 102.48 | 102.23 |
| EUR/JPY | 136.80 | 136.85 | 136.61 |
| GBP/JPY | 172.39 | 172.44 | 171.80 |
| AUD/JPY | 95.15 | 95.18 | 94.73 |
| EUR/USD | 1.3352 | 1.3374 | 1.3349 |

| LONDON | LD高値 | LD安値 |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 102.52 | 102.40 |
| EUR/JPY | 136.92 | 136.72 |
| GBP/JPY | 172.62 | 171.04 |
| AUD/JPY | 95.26 | 95.07 |
| EUR/USD | 1.3367 | 1.3342 |

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 日経平均 | 15213.63 | +52.32 |
| ハンセン指数 | 24890.34 | +200.93 |
| 上海総合 | 2222.88 | +1.28 |
| 韓国総合指数 | 2062.36 | +20.89 |
| 豪ASX200 | 5514.72 | -15.61 |
| インドSENSEX指数 | 25918.95 | +38.18 |
| シンガポールST指数 | 3301.41 | -1.98 |

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 英FT100 | 6656.68 | +24.26 |
| 仏CAC40 | 4194.79 | +32.63 |
| 独DAX | 9198.88 | +129.41 |
| ST欧州600 | 330.02 | +1.28 |
| 西IBEX35指数 | 10304.00 | +62.50 |
| 伊FTSE MIB指数 | 19537.26 | +121.00 |
| 南ア 全株指数 | 51266.51 | -182.50 |

| NEW YORK | NY終値 | NY高値 | NY安値 |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 102.44 | 102.55 | 102.24 |
| EUR/JPY | 136.92 | 137.18 | 136.86 |
| GBP/JPY | 170.97 | 171.23 | 170.87 |
| AUD/JPY | 95.34 | 95.40 | 95.19 |
| NZD/JPY | 86.66 | 86.74 | 86.46 |
| EUR/USD | 1.3366 | 1.3416 | 1.3355 |
| AUD/USD | 0.9307 | 0.9320 | 0.9291 |

| 米主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-----------|----------|---------|
| 米ダウ平均 | 16651.80 | +91.26 |
| S&P500 | 1946.72 | +12.97 |
| NASDAQ | 4434.13 | +44.87 |
| その他主要株 | 終値 | 前日比 |
| 🇨🇦 トロント総合 | 15262.73 | -11.50 |
| 🇧🇷 ボルサ指数 | 44723.96 | -10.08 |
| 🇨🇦 ボベスパ指数 | 55581.19 | -861.15 |

8/14 経済指標スケジュール

| | |
|-------|-----------------|
| 08:01 | 【英】7月RICS住宅価格 |
| 08:50 | 【日】6月機械受注 |
| 14:30 | 【仏】2Q GDP |
| 15:00 | 【独】2Q GDP |
| 15:45 | 【仏】2Q非農業部門雇用者 |
| 16:00 | 【トルコ】6月经常収支 |
| 16:15 | 【スイス】7月生産者輸入価格 |
| 17:00 | 【欧】8月欧州中銀 月報 |
| 17:00 | 【ポーランド】2Q GDP |
| 18:00 | 【欧】2Q GDP |
| 18:00 | 【欧】7月消費者物価指数 |
| 21:30 | 【米】新規失業保険申請件数 |
| 21:30 | 【米】失業保険継続受給者数 |
| 21:30 | 【米】7月輸入物価指数 |
| 21:30 | 【カナダ】6月新築住宅価格指数 |

| コモディティ | 終値 | 前日比 |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1314.50 | +3.90 |
| NY 原油 | 97.59 | +0.22 |
| CMEコーン | 369.75 | +0.75 |
| CBOT 大豆 | 1046.75 | -12.75 |

| 米国債利回り | 本日 | 前日 |
|--------|-------|-------|
| 2年債 | 0.41% | 0.44% |
| 3年債 | 0.88% | 0.89% |
| 5年債 | 1.58% | 1.62% |
| 7年債 | 2.05% | 2.10% |
| 10年債 | 2.41% | 2.45% |
| 30年債 | 3.24% | 3.27% |

8/14 主要会議・講演・その他予定

・米30年債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.46 ユーロ/円 136.91 ユーロ/ドル 1.3364

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

| 欧州主要株価 | 株価 | 前日比 | 米株価先物 | 株価 | 前日比 |
|---------|---------|--------|-----------------|---------|--------|
| 英 FT100 | 6652.87 | +20.45 | ダウ INDEX FUTURE | 16582 | +63 |
| 仏 CAC40 | 4191.80 | +29.64 | S&P500 FUTURE | 1939.60 | +9.20 |
| 独 DAX | 9164.83 | +95.36 | NASDAQ FUTURE | 3921.50 | +18.00 |

(出所:SBILM)

21:00

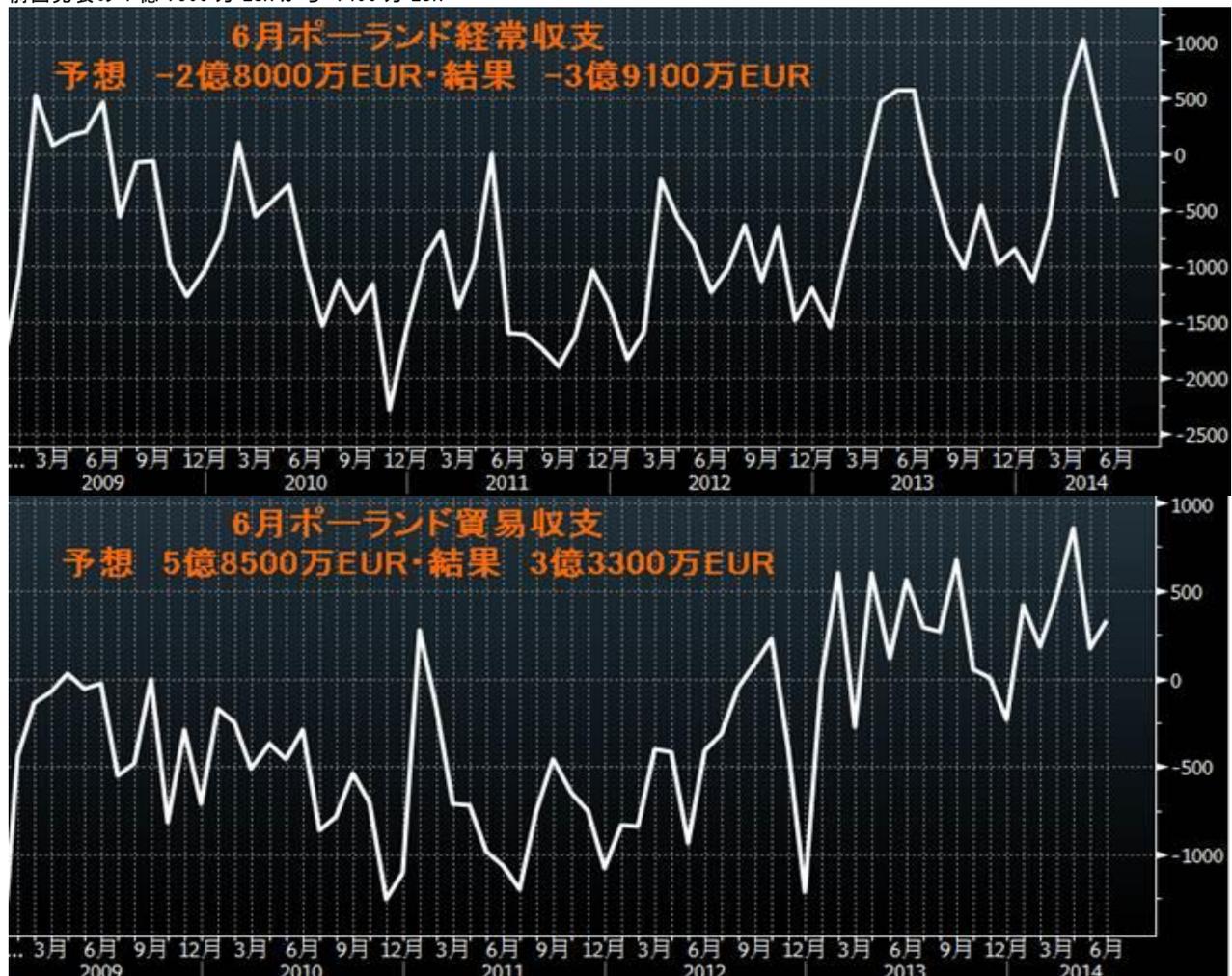
◀ 経済指標の結果 ▶

6月ポーランド経常収支 -3億9100万EUR (予想 -2億8000万EUR・前回 1億2400万EUR)

前回発表の2億8000万EURから1億2400万EUR

6月ポーランド貿易収支 3億3300万EUR (予想 5億8500万EUR・前回 -1400万EUR)

前回発表の1億7500万EURから-1400万EUR



(出所:ブルームバーグ)

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月ポーランド消費者物価指数(前月比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 0.0%)

7月ポーランド消費者物価指数(前年比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 0.3%)



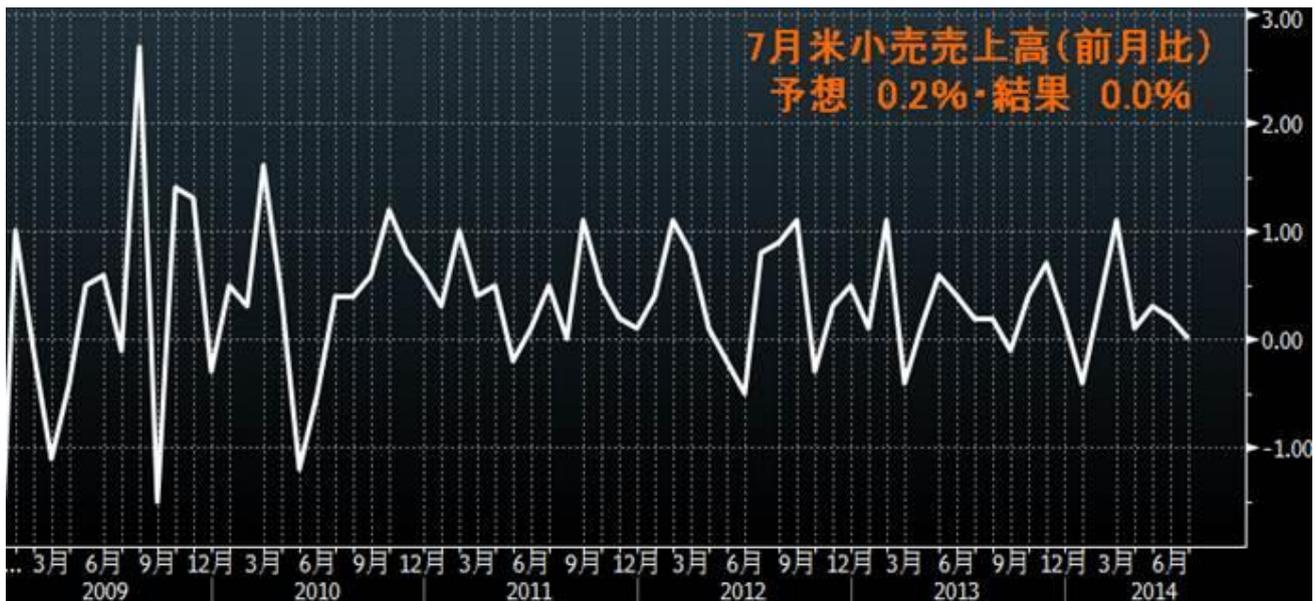
(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

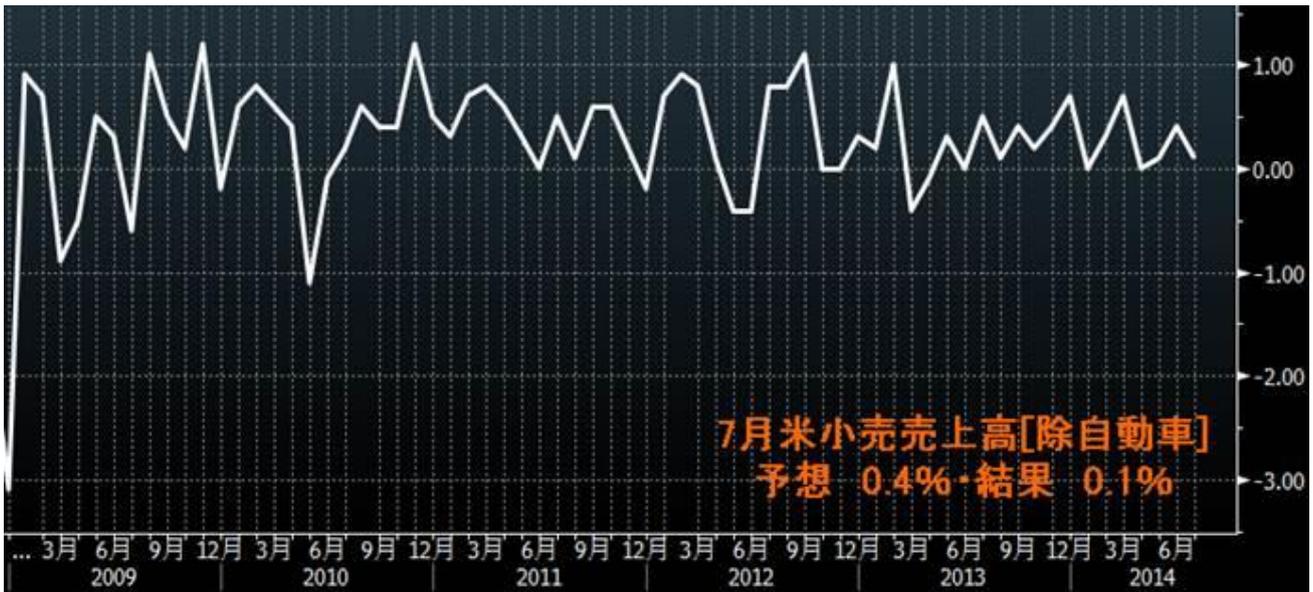
◀ 経済指標の結果 ▶

7月米小売売上高(前月比) 0.0% (予想 0.2%・前回 0.2%)

7月米小売売上高[除自動車] 0.1% (予想 0.4%・前回 0.4%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米小売売上高》

| | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 前年同月 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 小売売上高 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 0.6 | 1.5 | 0.9 | 4.3 |
| 除く自動車 | 0.1 | 0.4 | 0.4 | 0.6 | 0.9 | 0.4 | 3.5 |
| 自動車・部品 | -0.2 | -0.3 | 0.7 | 0.8 | 3.9 | 2.6 | 6.4 |
| 建設資材等 | 0.2 | 1.0 | 1.2 | 1.4 | 2.3 | -0.3 | 3.7 |
| 食品・飲料 | 0.3 | 0.9 | 0.3 | 0.2 | -0.1 | -0.2 | 2.5 |
| 総合小売店 | -0.5 | 0.4 | -0.5 | 1.3 | 0.9 | 0.1 | 3.4 |
| 大規模小売店 | -0.7 | -1.1 | -1.6 | 2.0 | 1.1 | 1.5 | -0.1 |
| その他小売店 | 0.9 | 0.9 | 0.7 | -1.3 | 2.0 | -0.2 | 0.4 |

(前月比%)



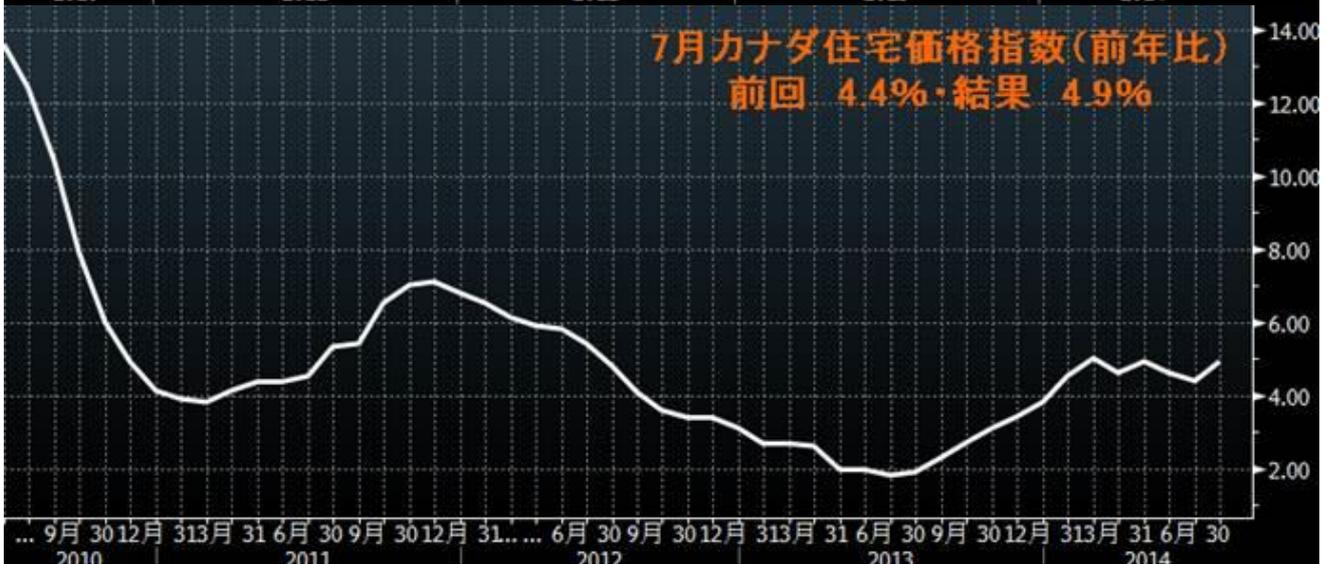
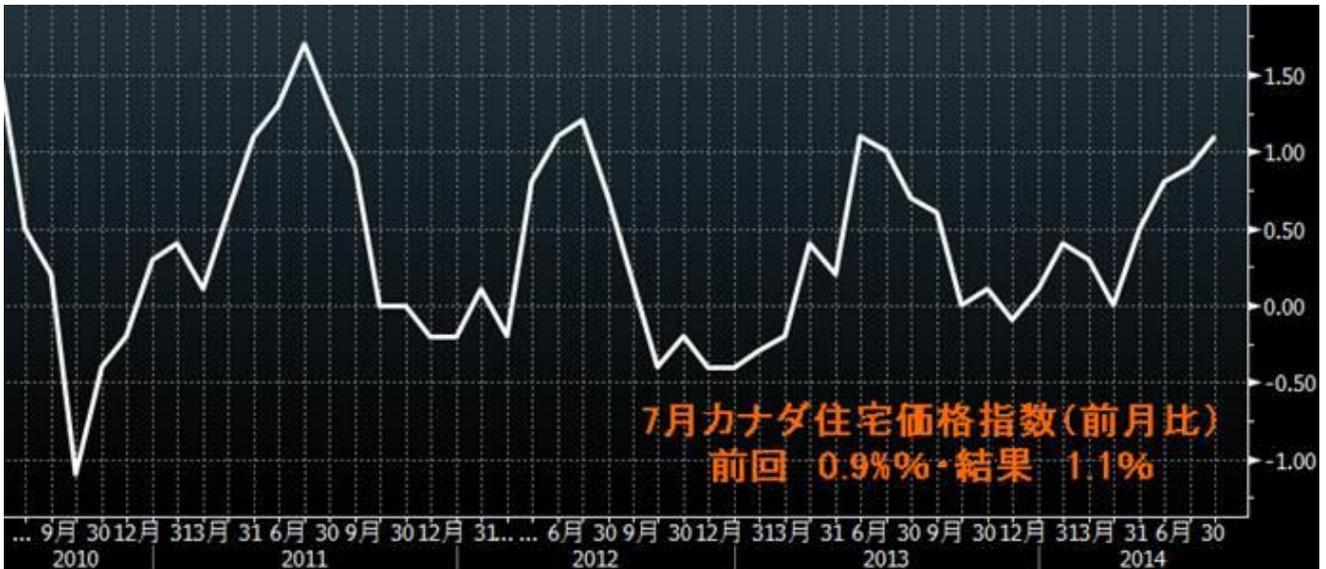
(出所: ネットダニアー)

22 : 00

< 経済指標の結果 >

7月カナダ住宅価格指数(前月比) 1.1% (前回 0.9%)

7月カナダ住宅価格指数(前年比) 4.9% (前回 4.4%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 20

< 要人発言 >

ローゼングレン・ポストン連銀総裁

・「証券会社規制抜本的な見直し必要」

22 : 36

米主要株価

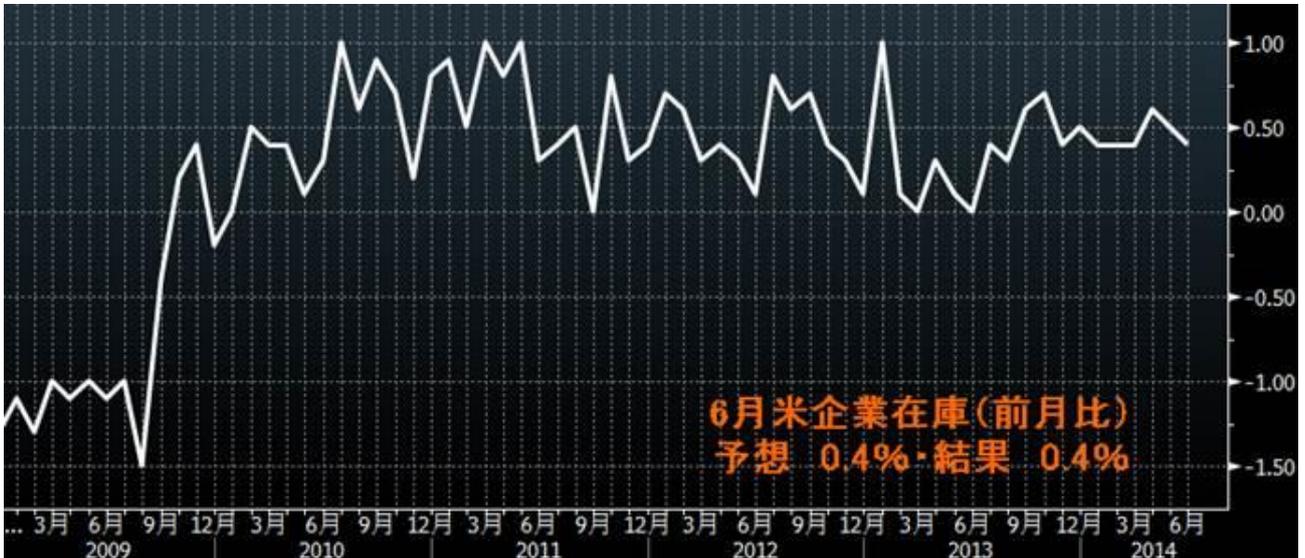
| 米主要株 | 株価 | 前日比 |
|-------|----------|--------|
| ダウ平均 | 16614.07 | +53.53 |
| ナスダック | 4411.50 | +22.25 |

(出所:SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米企業在庫（前月比） 0.4%（予想 0.4%・前回 0.5%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀米企業在庫▶

| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 前年同月比 |
|--------|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 企業在庫 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | 0.4 | 0.5 | 5.0 |
| 製造業 | 0.3 | 0.8 | 0.5 | 0.2 | 0.7 | 2.8 |
| 小売業 | 0.5 | 0.2 | 0.5 | 0.1 | -0.1 | 6.1 |
| 自動車・部品 | 0.9 | 0.5 | 1.2 | 0.0 | -0.8 | 11.6 |
| 卸売業 | 0.3 | 0.3 | 1.0 | 1.1 | 0.7 | 6.7 |

| | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 前年同月比 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| 企業売上 | 0.3 | 0.4 | 0.8 | 1.1 | 0.9 | 5.4 |
| 製造業 | 0.5 | -0.1 | 0.4 | 0.4 | 1.0 | 3.9 |
| 小売業 | 0.2 | 0.4 | 0.7 | 1.5 | 0.9 | 4.7 |
| 卸売業 | 0.2 | 0.7 | 1.3 | 1.6 | 0.9 | 7.8 |

23 : 30

◀EIA 米週間在庫統計▶

原油在庫・・・140万バレル増加
 ガソリン在庫・・・116万バレル減少
 留出油在庫・・・242万バレル減少

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、アジアや欧州の主要株価が上昇したことが好感され、主要株価は堅調な展開で始まった。また、ウクライナや中東の情勢への警戒感がやや緩和したことも支援材料となった。一方、米小売売上高が市場予想を下回ったことを嫌気した売りも出ており、上値はやや限定的となっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比-2.7%となった。構成指数の借り換え指数は-4.0%となり、5月2日の週以来の低水準となった。また、購入指数は-1.0%となった。申請全体に占める借り換えの割合は54% (前週 54.5%) となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は、前週から横ばいの4.3%、15年固定金利型は3.48% (前週 3.51%) から低下した。

(2) 7月の米小売売上高は、前月から横ばいの4398億200万ドルと、市場予想の+0.2%を下回り、4ヵ月連続で伸び幅の縮小となった。前年同月比は+3.7%となった。建材・園芸や服飾、食品・飲料が伸びたものの、主力の自動車・同部品でマイナスが続いたほか、家具が3ヵ月連続、家電が4ヵ月連続のマイナスとなったことが影響した。

①品目・業種別では、建材・園芸が+0.2%、服飾は+0.4%、食品・飲料が+0.3%、ガソリンスタンドは+0.1%となった。一方、自動車・同部品が-0.2%、家具・装飾は-0.1%、総合小売りは-0.5%、電子・家電は-0.1%となった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は前月比+0.1%となり、市場予想の+0.4%を下回った。前年同月比では+3.1%となった。

③寒波の影響が薄れ、3、4月は大きな伸びとなったものの、その反動から4ヵ月連続のマイナスとなっており、やや減速感が出てきた。

(3) 6月の米企業在庫は、前月比+0.4%の1兆7430億8600万ドルとなり、市場予想と一致する結果となった。また、前年同月比は+5.8%となった。

①業種別は、製造業が前月比+0.3%、小売業は+0.5%、卸売業は+0.3%となった。自動車・同部品を除く小売業は+0.3%となり、自動車・同部品は+0.9%と4月以来の大きな増加率となった。服飾は+0.1%、総合小売りは+0.2%、家具は+0.6%、建材・園芸用品は+0.5%となった。一方、百貨店は-0.3%、食品・飲料は横ばいとなった。

②企業売上高は、前月比+0.3%の1兆3467億3100万ドル、前年同月比では+4.7%。業種別は、製造業は+0.5%、小売業は+0.2%、卸売業は+0.2%。また、在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.29となった。

0:25

「ブラジル大統領候補を乗せた飛行機が墜落した可能性も」との報道を受けて、BRLは主要通貨に対して下落。また、ブラジル主要株価も下落している。



(出所:ブルームバーグ)

0:30

ブラジル大統領選挙に出馬のエドゥアルド・カンボス候補(49)がサントスでの飛行機墜落で死亡したとの報道。ブラジル大統領選は、10月5日に実施が予定されており、最近の世論調査ではカンボス候補は支持率3位だった。



(出所:ネットダニアー)

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|------------------|----------|---------|
| 英 FT100 | 6656.68 | +24.26 |
| 仏 CAC40 | 4194.79 | +32.63 |
| 独 DAX | 9198.88 | +129.41 |
| ストック欧州 600 指数 | 330.02 | +1.28 |
| ユーロファースト 300 指数 | 1325.46 | +5.34 |
| スペイン IBEX35 指数 | 10304.00 | +62.50 |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 19537.26 | +121.00 |
| 南ア アフリカ全株指数 | 51266.51 | -182.50 |

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、四半期決算で好業績を発表する企業が相次ぎ、市場のムードが好転したことから主要株価は堅調な動きとなった。独 DAX は、前日に大幅下落となった反動もあり、1.4% 以上の上昇となった。



(出所: ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16655.33 (+94.79)、S&P500 1947.14 (+13.39) ナスダック 4428.32 (+39.07)

《欧州のポイント》

①英中銀は、四半期物価報告で、余剰能力の規模は対 GDP 比で約 1% との見解を示した。前回の評価では 1.25% を中間点としていた。また、スラックが想定より急速に解消されつつあるものの、今後のベース鈍化に伴い「国内のインフレ圧力の高まりは抑制されるはずだ」と説明した。前回の報告にあった「利上げを実施する前にスラックを一段と解消する余地がある」との一文は削除。MPC (金融政策委員会) が政策金利を過去最低の 0.50% から引き上げ始める際、その利上げペースは段階的になるとの方針はあらためて示した。

②英政府統計局が発表した ILO (国際労働機関) 基準の 4-6 月の失業率は 6.4% と、2008 年 10-12 月以来の低水準となった。また、賃金は前年同期比 -0.2% と、四半期ベースではここ 5 年余りで初めて減少した。また、7 月の失業保険申請ベースの失業者数は、前月比で -3 万 3600 人となり、市場予想の -3 万人を上回り、1 年 9 カ月連続の減少で 2008 年以来の低水準となった。

③EU 統計局が発表した 6 月のユーロ圏鉱工業生産は、前月比 -0.3% となり、市場予想を下回り、2 カ月連続のマイナスとなった。イラクやウクライナ、パレスチナ情勢の緊迫化の影響が、ユーロ圏経済に及び始めていることが鮮明になっており、ユーロ圏経済の回復期待感が一段と後退するとの見方も出ている。ユーロ圏主要国のドイツ、フランス、イタリアの鉱工業生産は、前月比では増加したものの、ドイツは前年同月比で -0.4% となり、2013 年 7 月以来初めて前年比で減少した。また、フランスの鉱工業生産は、前年同月比で横ばいとなり、12 月以来の堅調な結果となった。イタリアの鉱工業生産は、6 月は +0.4% となり、5 月の -1.7% から改善している。

④ギリシャ統計庁が発表した第2・四半期のGDP速報値は、季節調整済で前年同期比-0.2%となり、リセッションが始まった2008年終盤以降で最も小幅なマイナスにとどまった。1-3月期のGDPは-1.1%に下方修正された。ギリシャ、EU、IMFによる今年のギリシャ経済の成長見通しは+0.6%となっている。

≪ NY債券市場 ・午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、7月の米小売売上高が市場予想を下回ったことから、米FRBが低金利政策を当面続けるとの見方が強まり、買いが先行した。ただ、買い一巡後は、米10年物国債入札を控えて様子見ムードが広がり、小動きの展開となった。

午前の利回りは、30年債が3.25%（前日3.28%）、10年債が2.42%（2.45%）、7年債が2.06%（2.10%）、5年債が1.58%（1.62%）、3年債が0.88%（0.89%）、2年債が0.42%（0.43%）。

2:00

≪米財務省10年債入札≫

最高落札利回り・・・2.439%（前回 2.597%）

最低落札利回り・・・2.337%（前回 2.491%）

最高利回り落札比率・・・66.39%（前回 14.04%）

応札倍率・・・2.83倍（前回 2.57倍）

3:30

NY金は、中心限月が前日比3.90ドル高の1オンス=1314.50ドルで取引を終了した。

4:30

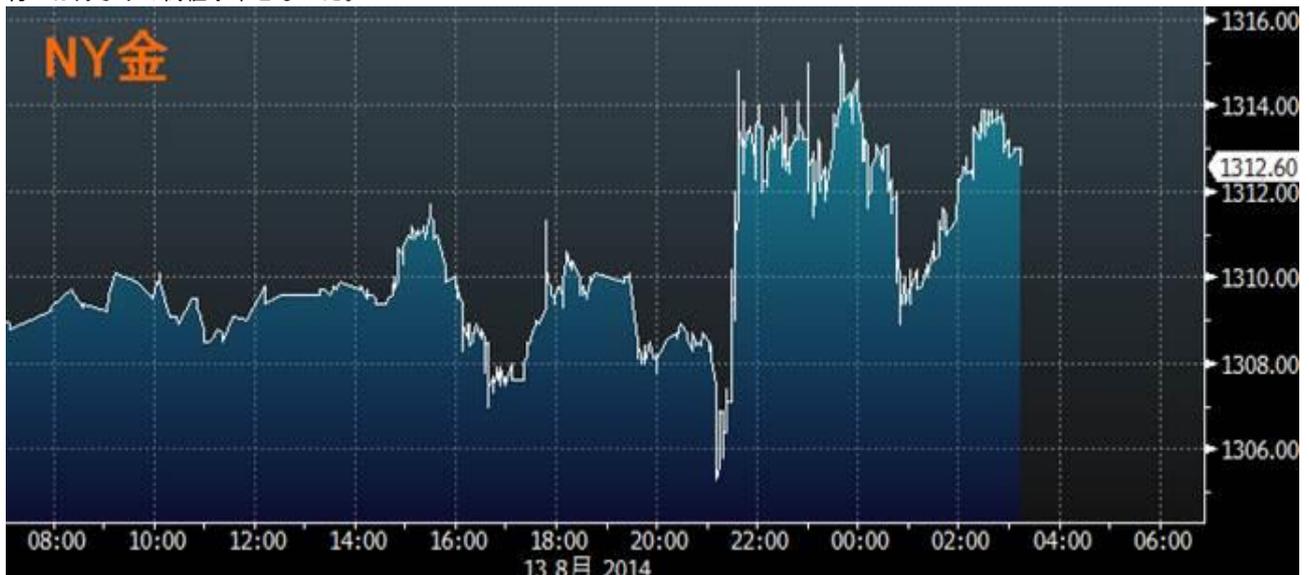
NY原油は、中心限月が前日比0.22ドル高の1バレル=97.59ドルで取引を終了した。

| 主要商品 | 終 値 | 前日比 |
|---------|---------|-------|
| NY GOLD | 1314.50 | +3.90 |
| NY 原油 | 97.59 | +0.22 |

（出所：SBILM）

≪ NY金市場 ≫

NY金は、7月の米小売売上高が市場予想を下回ったことをきっかけに米景気の先行き不透明感が広がり、比較的安全な資産とされる金を買われた。また、ウクライナや中東情勢への警戒感が根強いことも下支え要因となった。終値ベースでは、7月中旬以来、約1ヵ月ぶりの高値水準となった。



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計で原油の在庫が予想以上に増加したことが嫌気され、売りが先行した。しかし、その後はイラクやリビアの混乱を背景とした供給不安などから買い戻しが入り、プラス圏で引けた。



(出所:ブルームバーグ)

| 主要株価 | 終値 | 前日比 | 高値 | 安値 |
|---------|----------|--------|----------|----------|
| ダウ平均株価 | 16651.80 | +91.26 | 16670.29 | 16567.54 |
| S&P500種 | 1946.72 | +12.97 | 1948.41 | 1935.60 |
| ナスダック | 4434.13 | +44.87 | 4434.31 | 4403.64 |

(出所:SBILM)

《 米株式市場 》

米株式市場は、アジアや欧州の主要株価が上昇したことが好感され、主要株価は堅調な展開で始まった。しかし、米小売売上高が市場予想を下回ったことを嫌気した売りも出ており、序盤はやや上値の重い動きとなった。しかし、ウクライナや中東の情勢への警戒感がやや緩和したとの見方などが支援材料となり、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、やや上値の重い動きとなったものの、その後は堅調な動きとなり、一時前日比で109ドル高まで上昇する動きも見られた。しかし、その後は上値が重く、狭いレンジ内の展開が続いた。



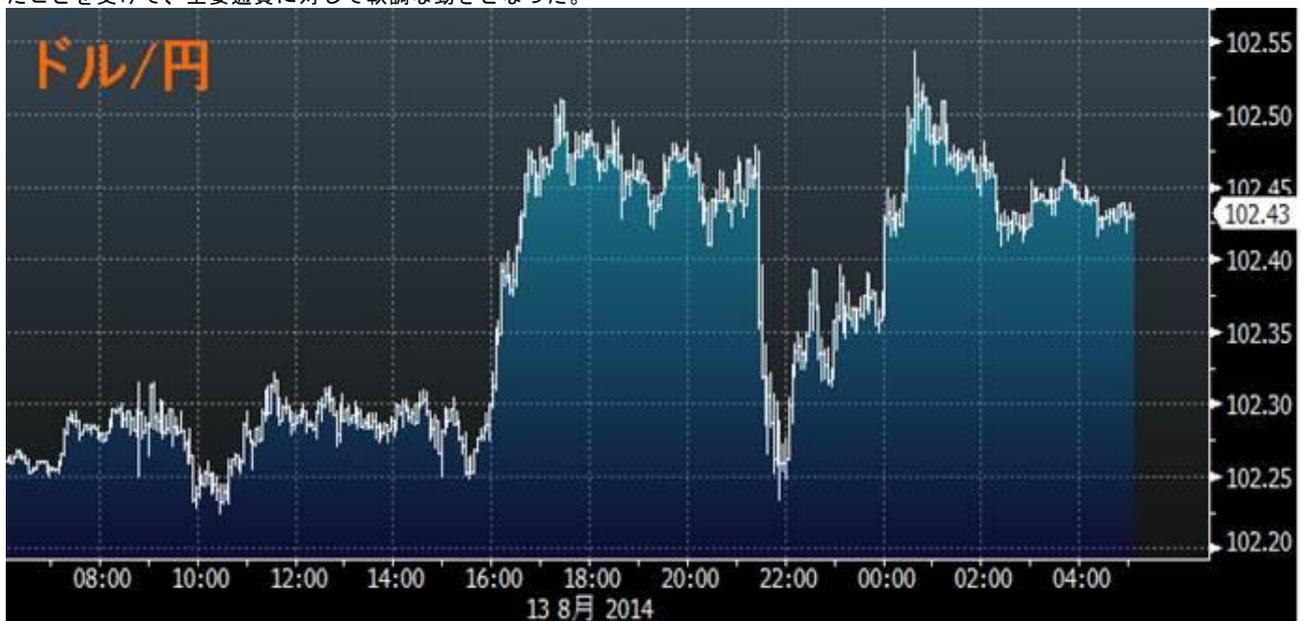
(出所:ブルームバーグ)

| 主要通貨 | NY 終値 | NY 高値 | NY 安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 102.44 | 102.55 | 102.24 |
| EUR/JPY | 136.92 | 137.18 | 136.86 |
| GBP/JPY | 170.97 | 171.23 | 170.87 |
| AUD/JPY | 95.34 | 95.40 | 95.19 |
| NZD/JPY | 86.66 | 86.74 | 86.46 |
| EUR/USD | 1.3366 | 1.3416 | 1.3355 |
| AUD/USD | 0.9307 | 0.9320 | 0.9291 |

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米小売売上高が市場予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して下落する動きとなった。そして、ユーロが対ドルで大きく上昇したことから、ユーロ円も堅調な動きとなり、クロス円も堅調な動きとなった。また、欧米の堅調な株価動向も支援材料となった。しかし、円ポンドは、英中銀総裁が利上げを急がない方針を示したことを受けて、主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。